

**令和5年度進行管理・評価シート**  
**下田市歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）**  
（最終変更 令和2年5月29日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	.....	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	.....	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業	.....	5
2 下田市景観まちづくり条例助成事業	.....	6
3 玉泉寺周辺整備事業	.....	7
4 市道大川端通線周辺整備事業	.....	8
5 旧下田町道路美装化事業	.....	9
6 蓮台寺温泉環境整備事業	.....	10
7 下田公園環境整備事業	.....	11
8 下田太鼓祭りプロモーション事業	.....	12
9 太鼓台整備助成事業	.....	13
10 姉妹都市(ニューポート)交流事業	.....	14
11 下田市青年就農給付金給付事業	.....	15
12 天草漁業従事者育成事業	.....	16
13 旧下田町環境整備事業	.....	17
14 歴史文化資源回遊性向上事業	.....	18
15 郷土学習総合推進事業	.....	19
16 下田市歴史文化情報発信推進事業	.....	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、保存管理(活用)	.....	21
2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練	.....	22
3 文化財の普及・啓発、団体との連携	.....	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 SNSにみる認知度の向上	.....	25
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	26

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に関わる建設課と生涯学習課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を受けるとともに、下田市歴史的風致維持向上協議会(計画認定後に名称変更予定)と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、下田市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課と生涯学習課を中心に、事業に応じて庁内関係各課と協議・調整し、市民および各民間団体の理解・協力を得ながら事業を実施している。特に今後、より専門的な協議等が必要となることを想定し、学識者や関係者とともに作業する組織として、下田市歴史的風致維持向上協議会内に「作業部会」を設置できるようにした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画第8章「4 改修に伴う建築基準法の適用除外」について、作業部会を設置し検討していく方針。		
状況を示す写真や資料等			
<pre>                 graph TD                     A["&lt;国&gt; 文部科学省 農林水産省 国土交通省"] -- 協議 --&gt; B["下田市 &lt;事務局&gt; 建設課、生涯学習課"]                     C["&lt;静岡県&gt; スポーツ・文化観光 部交通基盤部"] -- 助言支援 --&gt; B                     B -- 協議調整 --&gt; D["下田市歴史的風致維持向上協議会 作業部会 作業部会 連絡調整会議"]                     B -- 報告 --&gt; E["下田市 文化財保護審議会"]                     E -- 助言 --&gt; B                     B -- 協議調整 --&gt; F["下田市 都市計画審議会"]                     G["市民、文化財所有者、関係団体"] &lt;--&gt;  協議 調整  B                     H["実施体制"]             </pre>			
作業部会: 協議会所掌事項に関し、必要に応じて詳細な調査及び検討をする。 連絡調整会議: 作業部会間の調整を行う。			

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 本重点区域は、まどが浜海遊公園や柿崎弁天島などの一部を除き、ほぼ全区域が用途地域内である。こうした現状の用途地域区分に基づき、適切な土地利用を誘導することにより、中心市街地としての都市機能の集積と良好な居住環境の形成との両立を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下田市は、海や山の景観を有し、それらが地域における歴史的風致と密接に結びついている。こうした良好な景観を維持し、さらに形成していくことは歴史的風致の維持向上においても重要である。また、下田市民1人当たりの公園緑地等の面積が約21.7㎡(令和6年2月1日時点)と高く、県下有数の公園都市となっていることから、今年度より「緑の基本計画」の策定に取り組みはじめ、令和6年9月末に策定を完了させる予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

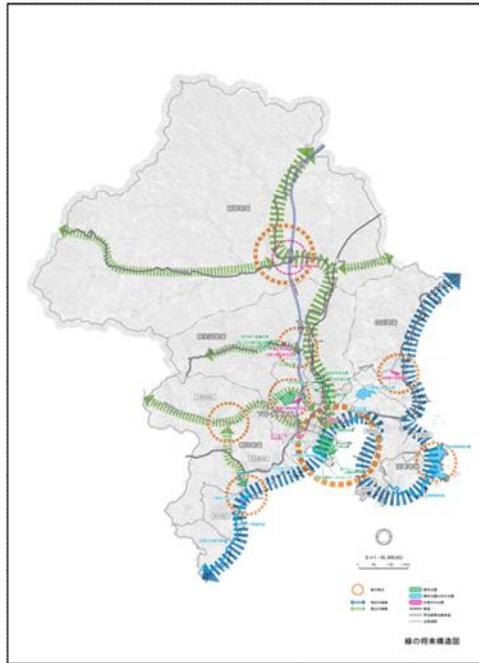
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	適切な緑の配置は、下田市内外を取り巻く現代の社会情勢において、より豊かな暮らしとなる「居心地の良い空間」の創設に寄与することから、より良い景観の形成を考慮した計画を立案する。
--	---

状況を示す写真や資料等

下田市緑の基本計画(策定中)



「下田市緑の基本計画」



「下田市緑の基本計画」

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 重点区域は、下田市景観計画に定める旧町内ゾーン、下田港周辺ゾーン、海岸線ゾーンの一部が含まれている。今後は、景観形成施策と歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等に関する事業推進の両輪で歴史的風致の維持向上を進めることを基本とし、下田市景観まちづくり条例に基づく景観重点地区の指定を進めていくとともに、歴史的風致と調和した良好な住環境の形成と美しく品格のあるまちづくりを進めていくため、旧下田町内においては、建築物の高さ制限などについて検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「下田市景観計画」の改訂に向け、下田市景観まちづくり審議会作業部会において検討を重ねた。(作業部会:5回開催)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市の景観施策を今後どのように進めていくのか。その目標の設定と、それを達成するための基準や規制、景観形成の方向性をいかに具体化していくか。

状況を示す写真や資料等



令和6年2月20日作業部会  
 アドバイザー:東京農業大学地域環境科学部造園科学科  
 荒井 歩 教授による講演及び現地説明  
 講演「里山の景観について」



令和6年2月20日作業部会  
 アドバイザー:東京農業大学地域環境科学部造園科学科  
 荒井 歩 教授による講演及び現地説明  
 現地説明:下田市稲梓地域(箕作地区)



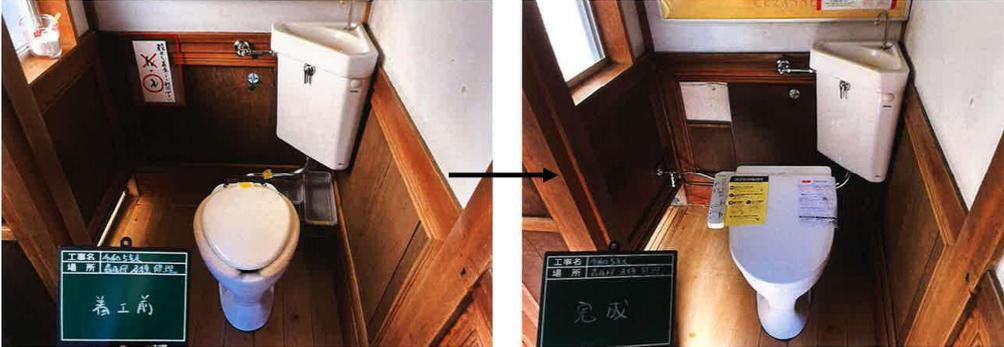
令和6年2月20日作業部会  
 アドバイザー:東京農業大学地域環境科学部造園科学科  
 荒井 歩 教授による講演及び現地説明  
 現地説明:下田市稲梓地域(横川地区)

令和5年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会  
 活動状況

〈会議開催:年間5回〉

①令和5年12月6日 ②令和6年1月19日  
 ③令和6年2月6日 ④令和6年2月19・20日  
 ⑤令和6年3月26日

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市における屋外広告物の表示及び掲出については、屋外広告物法及び静岡県屋外広告物条例により規制・誘導している。屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、良好な歴史的風致の維持及び向上を図るため、市独自条例の制定に向けて検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「下田市景観計画」の改訂に向け、下田市景観まちづくり審議会作業部会において検討を重ねた。(作業部会:5回開催)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市景観計画の改定による景観形成の方向性を踏まえ、それを補完できるように規制・誘導内容を定めた市独自条例の制定が求められる。		
状況を示す写真や資料等			
			
令和6年2月20日作業部会 アドバイザー:東京農業大学地域環境科学部造園科学科 荒井 歩 教授による講演及び現地説明 講演「里山の景観について」		令和6年2月20日作業部会 アドバイザー:東京農業大学地域環境科学部造園科学科 荒井 歩 教授による講演及び現地説明 現地説明:下田市稲梓地域(箕作地区)	
		令和5年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会 活動状況  〈会議開催:年間5回〉 ①令和5年12月6日 ②令和6年1月19日 ③令和6年2月6日 ④令和6年2月19・20日 ⑤令和6年3月26日	
令和6年2月20日作業部会 アドバイザー:東京農業大学地域環境科学部造園科学科 荒井 歩 教授による講演及び現地説明 現地説明:下田市稲梓地域(横川地区)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和5年度～令和9年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物を後世に残すため、必要に応じて現況調査、維持管理や活用についての検討、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の修繕費用に対する助成を実施し、建造物の保護保存を進めた。 歴史的風致形成建造物修繕助成(※対象物件10件(毎年度活用可)) 令和元年度2件、令和2年度5件、令和3年度4件、令和4年度4件、令和5年度1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建物所有者の高齢化や維持管理の負担など、引き続き歴史的建造物の保護保存に対する課題は多い。助成制度の継続的な運用はもちろん、建物所有者にとって使いやすい制度の検討など、所有者への聞き取りなどを通して制度の拡充を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
指定番号No.5草画房(トイレ修理着工前・着工後※施設公開部分)			
			
指定番号No.5草画房(自動水栓取付着工前・着工後※施設公開部分)			
			
指定番号No.5草画房(流し台交換工事着工前・着工後※施設公開部分)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
下田市景観まちづくり条例助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する歴史的建造物のうち、下田市景観まちづくり条例に基づく登録まち遺産である建造物を後世に残すため、必要とされる修繕、活用に向けた費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的建造物の保護保存、活用に向けた改修等の費用負担軽減に対する助成事業を実施。 平成23年度 3件、平成24年度 3件、平成25年度 2件、平成26年度 1件、平成27年度 2件、平成28年度 1件、平成30年度 2件、令和元年度 2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の高齢化、維持管理費用の負担など、歴史的建造物が抱える課題は多い。助成制度を継続的に運用しながら、より所有者の負担軽減につながる制度の検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
玉泉寺周辺整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 玉泉寺周辺において、道路修景による歴史あるまちなみと調和した空間の整備や、駐車場整備等の環境整備を行うことにより、玉泉寺周辺の賑わいを取り戻し、良好なまちなみ環境の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学校教育における市内歴史資産の活用を検討し、周辺整備事業の事業価値の向上にも寄与することから、市内小中学校の教職員を対象とした教職員の歴史まちづくり・社会科見学の実施を検討、調整した。(令和6年度夏に開催予定。)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備事業の周知につなげるため、エリアの歴史的価値を広く広報するため、教職員を対象とした事業を行い、学校教育への活用を促す。
--	---

状況を示す写真や資料等



令和6年度 教職員の歴史まちづくり・社会科見学(案) 打合せ

令和6年度 教職員の歴史まちづくり・社会科見学(案) 概要書

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
市道大川端通線周辺整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)

計画に記載している内容 市道大川端通線周辺において、歴史あるまちなみ及び稲生沢川と調和した空間の整備を図るため、道路東側の物揚場の修景舗装、休憩施設の設置等の再整備を行い、良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市再生整備計画事業の事後評価を実施し、事後評価シートを作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
 ■計画どおり進捗している  
 □計画どおり進捗していない  
 事業実施期間が新型コロナウイルス感染症拡大期間と重複したため、事業効果について十分な成果が得られなかったが、市民アンケートの結果などを踏まえ、今後の検討材料とする。

状況を示す写真や資料等



令和5年度第1回  
下田市都市再生整備計画事後評価評価委員会・検討会  
令和5年11月24日(金) 於: 関国下田みなと 第1会議室)



令和5年度第2回  
下田市都市再生整備計画事後評価評価委員会  
令和6年3月13日(水) 於: 基幹集落センター 大会議室)

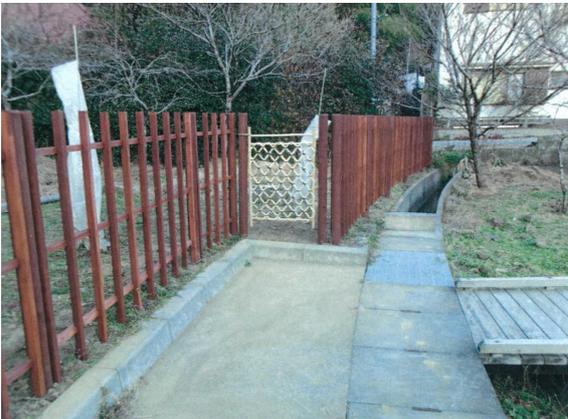


都市再生整備計画事後評価シート



都市再生整備計画事後評価シート

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
旧下田町道路美装化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成30年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	旧下田町内において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装や街灯整備、無電柱化を実施することにより、住民が誇りを持てる空間の形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度に「旧下田町地区街なみ環境整備事業計画」を策定し、計画に基づいて令和4年度も事業を実施した。 修景舗装実施済延長＝令和元年度:49.55m、令和2年度:69.20m、令和3年度:36.58m、令和4年度:32.2m これまでにおける修景舗装実施延長割合＝実施済延長:187.53m／計画延長:650m * 100＝29%			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和5～9年度の5力年においても、街なみ環境整備事業による修景舗装を実施する計画とし、令和4年度実施箇所から連続して40.3mを施工した。 (実施済延長227.83m／計画延長:650m * 100＝35%)	
状況を示す写真や資料等			
			
市道須崎町本町通線		施工前	
↓			
			
市道須崎町本町通線		施工後	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
蓮台寺温泉環境整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成28年度～令和2年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	蓮台寺温泉地区において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装及び沿道への公園整備等を実施することにより、蓮台寺温泉地区の賑わいを取り戻し、温泉場らしい景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)にて整備した都市公園「しだれ桃の里公園」の管理として、劣化した柵の修繕を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	シカによる食害によりしだれ桃に被害が出ており、柵等により対策を講じているが抜本的な対策にはつなげていない。		
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">修繕前①</p>		 <p style="text-align: center;">修繕前②</p>	
↓		↓	
 <p style="text-align: center;">修繕後①</p>		 <p style="text-align: center;">修繕後②</p>	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
下田公園環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田公園の地形的条件や自然環境などの特質を活かして、下田公園からまちなみを一望できる施設や散策路などの整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定史跡 下田城址の測量完了後の活用方針を検討。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市指定史跡 下田城址の測量完了後の活用方針を検討し、公園内の整備方針に反映させていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
下田太鼓祭りプロモーション事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 首都圏等、市外の都市において下田太鼓祭りを様々な媒体を活用して魅力を発信、認知度をあげるプロモーションを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

前年度に引き続き、重点区域内の歴史的建造物やまちなみを散策してもらうため、散策マップを歴史的風致維持向上施設「旧澤村邸」にて継続的に配布。また、同施設にて令和元年度より歴史まちづくりカードの配布を行っており、カード表面に下田太鼓祭りの一場面を採用している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない 継続的な広報活動と新たな情報発信方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等



マップ(表面)



歴史まちづくりカード

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度						
項目		現在の状況							
太鼓台整備助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手							
事業期間	平成30年度～令和9年度								
支援事業名	市単独事業								
計画に記載している内容	下田太鼓祭りの保全継承のために、祭りで使用する太鼓台の修理費等の一部を補助する。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
太鼓台整備助成事業の検討も含め、下田市景観まちづくり条例における助成内容の見直しを検討。									
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)							
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		太鼓台や道具類を扱う職人の高齢化や、事業継承が困難な状況があり、技術の伝承や助成金制度などを活用した保護保存の検討も必要である。技術の伝承として記録保存するなど、新たな対応策の検討も必要である。							
状況を示す写真や資料等									
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>令和5年度 下田市景観まちづくり審議会作業部会 活動状況</p> <p>〈会議開催:年間6回〉</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①令和5年12月6日</td> <td style="width: 50%;">②令和6年1月19日</td> </tr> <tr> <td>③令和6年2月6日</td> <td>④令和6年2月19・20日</td> </tr> <tr> <td>⑤令和6年3月26日</td> <td></td> </tr> </table> </div>				①令和5年12月6日	②令和6年1月19日	③令和6年2月6日	④令和6年2月19・20日	⑤令和6年3月26日	
①令和5年12月6日	②令和6年1月19日								
③令和6年2月6日	④令和6年2月19・20日								
⑤令和6年3月26日									

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
姉妹都市(ニューポート)交流事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田市との姉妹都市であるアメリカ・ニューポート市との交流事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年7月11～18日の期間において、下田市ニューポート訪問団として中学生4名が当市の海外姉妹都市であるアメリカ合衆国ロードアイランド州ニューポート市との交流事業に参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な事業として実施できるよう、補助費用の財源確保に努める。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>ペリーの銅像前にて 記念式典</p>			
 <p>在ボストン総領事館本田領事のサポートを得ながら、サイ市長に質問しました</p>			

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
下田市青年就農給付金給付事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和9年度

支援事業名 静岡県農業次世代人材投資事業、市単独事業

計画に記載している内容 新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで、生活費などの費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新規の制度利用希望者はいなかったが、これまで給付を受けた者の就農は継続して行われた。

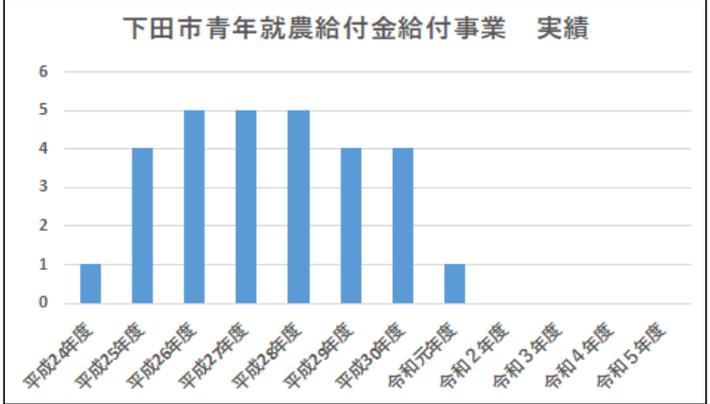
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

単に新規就農者を募集するのではなく、この地域の特色を生かしたプランを提示していく検討も必要である。

状況を示す写真や資料等

平成24年度: 1件  
 平成25年度: 4件  
 平成26年度: 5件  
 平成27年度: 5件  
 平成28年度: 5件  
 平成29年度: 4件  
 平成30年度: 4件  
 令和元年度: 1件  
 令和2年度: 0件  
 令和3年度: 0件  
 令和4年度: 0件  
 令和5年度: 0件



下田市青年就農給付金給付事業 実績  
(平成24年度～令和5年度)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
天草漁業従事者育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業である天草漁業従事者の育成を図るため、後継者育成・確保のための事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
イベント等の開催を検討したが、日程等条件が整わず開催を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域資源としての周知・広報を行い、認知度の向上を図る。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
旧下田町環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独事業

計画に記載している内容 旧下田町において、市民や観光客の快適性を図るため、伊豆急下田駅周辺の再整備や散策エリアにおけるポケットパークといった休憩施設の設置等を進めることにより、賑わいを取り戻し、観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市再生整備計画事業の事後評価を実施し、事後評価シートを作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

事業実施期間が新型コロナウイルス感染症拡大期間と重複したため、事業効果について十分な成果が得られなかったが、市民アンケートの結果などを踏まえ、今後の検討材料とする。

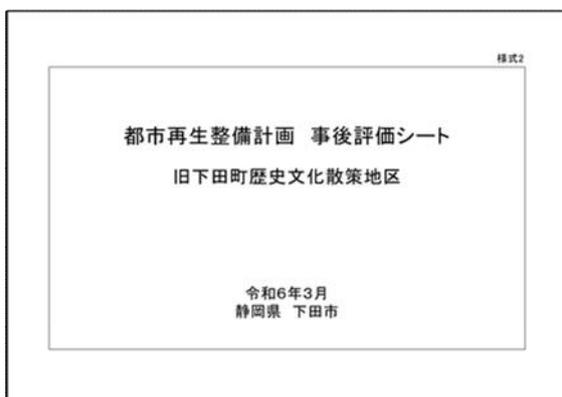
状況を示す写真や資料等



令和5年度第1回  
下田市都市再生整備計画事後評価評価委員会・検討会  
令和5年11月24日(金) 於: 開国下田みなと 第1会議室



令和5年度第2回  
下田市都市再生整備計画事後評価評価委員会  
令和6年3月13日(水) 於: 基幹集落センター 大会議室



都市再生整備計画事後評価シート



都市再生整備計画事後評価シート

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史文化資源回遊性向上事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町地区や蓮台寺温泉地区に残されている歴史・文化資源を活かすため、散策コースの設定やマップ作成、あるいは外国人にも対応する案内サインなどの整備やウォーキングイベント等の開催により、地区内で回遊を生み出し、賑わい創出に繋げ、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年9月17～18日(日・祝月)及び令和5年9月23～24日(祝土・日)の2期間において交通規制社会実験と観光行動調査を旧下田町地区において実施した。前半は交通規制を伴わない実施とし、後半は交通規制を伴い、なおかつ「下田市生涯学習施設整備基本構想策定業務」と連携したイベントの効果検証も併せて実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		社会実験による観光客の行動変化は確認でき、周遊性の向上は確認できたが滞在時間の増加までには至らなかった。また駅利用者が社会実験会場を訪れていない事例が多く、誘導案内表示などに課題を残す結果となった。	
状況を示す写真や資料等			
令和9年度 下田市における歩車共存による交通規制社会実験 調査業務報告書			
第3章 令和5年度社会実験概要と本調査業務の位置付け  3.1 交通規制の概要 旧下田町地区の公道は幅員が狭く、歩行者と自動車とが混在しており危険な状況である。当該地区は歩行者の多いエリアである。交通規制社会実験を行い、交通規制による歩行者の回遊性を高める。本調査業務は当該地区(図3.1) 実施期間 交通規制実施期 令和5年9月17日(日)、9月18日(月祝) 交通規制実施期 令和5年9月23日(土祝)、9月24日(日) 観測期間 調査進行止め 11:00～17:00		図3.1 交通規制区域  16	
第3章 令和5年度社会実験概要と本調査業務の位置付け  3.2 社会実験「大観町通り」に調査業務がやってくる！！ 大観町通りで令和5年9月23日(土祝)、9月24日(日)の2日間、12:00から16:00までの間、下田駅北口駅前が実施しているまちじゅう調査事業の一環として社会実験「大観町通りに調査業務がやってくる！！」が実施した。この社会実験では大観町通り沿いの地区で調査業務を行う。調査業務はまちじゅう調査事業と同様に調査業務にネットワークを改めて調査業務の本を配置。商店街や市民らの協力のもと、さまざまなブックイベントを開催した。		第6章 駅及び徒歩利用者の観測行動  6.4.3 地点ごとの滞在時間 図6.9及び、図6.10より、社会実験の有無により徒歩利用者の滞在時間に大きな変化は見られない。しかし、社会実験が行われていた時は、大観町通りを歩行者が滞在していることが分かる。さらに、駅前広場の滞在時間が伸びていることが見てとれ、No.2の11.6m区等の滞在時間の伸びが顕著である。 このように、駅前広場の観測の目的として置かれた徒歩利用者は、ペリロードを主な観測的地点として選んでいる。社会実験時には大観町通りにも徒歩利用者の滞在時間の増加が見られる。社会実験時には大観町通りにも徒歩利用者の滞在時間の増加が見られる。社会実験時には大観町通りにも徒歩利用者の滞在時間の増加が見られる。社会実験時には大観町通りにも徒歩利用者の滞在時間の増加が見られる。	
図3.2 「大観町通りに調査業務がやってくる！！」 調査風景		図3.3 「大観町通りに調査業務がやってくる！！」 調査風景	
図6.9 9月17,18日の徒歩利用者の滞在時間 (n=19)の地点ごとの滞在時間		図6.10 9月23,24日の徒歩利用者の滞在時間 (n=15)の地点ごとの滞在時間	
17			
45			
「令和5年度 下田市における歩車共存による交通規制社会実験 調査業務報告書」※一部抜粋 (委託先：日本大学理工学部理工学研究所)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
郷土学習総合推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の素晴らしさを伝えるため、市民の生涯学習や市内小中学生の総合学習において、郷土の歴史・文化に関する学習機会を提供する。また、歴史的建造物や活動を支える職人に対して、有識者を招いて、歴史文化資源の貴重性などについての講義等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年10月8日に吉田松陰関係史跡巡り「しょういん探検隊」を実施し、小学生6名、保護者6名の計12名が参加した。また、令和5年12月及び令和6年1月の2回、市内小学校より出前講座の依頼を受け実施。(下田小学校4年生 社会科、大賀茂小学校4年生 社会科)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	休日に実施したイベントでは、学校行事や地域行事と日程が重複し、参加希望者が伸び悩んだ。また、出前講座の要請については、制度を知らなかったとの声が寄せられ、引き続き制度の周知、啓発に努めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
吉田松陰関係史跡巡りイベント「しょういん探検隊」 令和5年10月8日開催 参加者12名(小学生6名)		職員出前講座「下田まち遺産について」 令和5年12月7日 大賀茂小学校4年生 社会科	
			
職員出前講座「景観を活かしたまちづくり」 令和6年1月23日 下田小学校4年生 社会科			

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
下田市歴史文化情報発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内外へ、歴史的風致に関する情報の周知を図るために、歴史的風致維持向上計画の公表と併せ、下田市広報、ホームページ、下田まち遺産手帖等で、歴史文化の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観広報誌『下田まち遺産手帖』を1冊作成し、市内小中学校や商店、金融機関、ドラッグストアや医療施設など、約170箇所に配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

広報内容の検討を継続し、歴史的風致の周知に努めていく。

状況を示す写真や資料等



『下田まち遺産手帖』vol.23  
令和5年11月30日発行(発行部数:5,000部)



『下田まち遺産手帖』vol.23  
令和5年11月30日発行(発行部数:5,000部)



『下田まち遺産手帖』vol.23  
令和5年11月30日発行(発行部数:5,000部)

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財調査、保存管理(活用)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	国指定文化財7件、県指定文化財10件、市指定文化財56件、合計73件の有形・無形の指定文化財が存在している。国・県・市指定文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、下田市文化財保護条例のほか、関連法令に基づき保存、活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度に実施予定である「玉泉寺ロシア人墓地踊場改修工事」に伴う試掘調査を令和5年9月15日～令和5年11月15日の期間において実施した。(調査対象面積49㎡)調査の結果、第2トレンチより敷石遺構が確認された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	試掘調査によって確認された遺構を保護保存しながら、来訪者の利便性を向上させるべく改修工事の設計、実施をしていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【第1トレンチ: 試掘前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【第2トレンチ: 試掘前】</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【第1トレンチ: 試掘後】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【第2トレンチ: 試掘後】</p>  </div> </div>			
令和5年度実施 国指定史跡玉泉寺 発掘調査概要 添付写真より			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。 文化財の周辺環境は、その文化財の魅力に強い影響力を持つ。よって、文化財の保存及び活用を図る上で、その文化財単体にのみ措置を講じるのではなく、その周辺環境と一体的な措置を講じ、文化財の魅力を高める。 火災が発生した際の迅速な消火体制の確保や対応力を高めるため、平素から防火教育や訓練に取り組むことで、文化財の滅失する危険性を除外・低下させていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定史跡吉田松陰寓寄処において、前年度に実施した耐震診断及び補強計画に基づく耐震補強工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を適切に保護保存し、将来にわたって着実に継承していくため、文化財の価値を損ねることのない適切な修理や周辺環境の整備、滅失等を防ぐための防災訓練の実施等を継続していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工状況 耐震補強工 施工完了 全景 南西より</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工状況 耐震補強工 施工完了 全景 北より</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工状況 制震ダンパー取付 制震ダンパー仮止固定 着火区の確認・隙間パッキン設置 締め付け順序の確認</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工状況 制震ダンパー取付 制震ダンパー本締め固定</p> </div> </div>			
令和5年度吉田松陰寓寄処耐震保養工事(完了届出書より一部抜粋)			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発、団体との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 市内外の人々を対象として実施する普及・啓発としては、文化財の価値や貴重さを伝えるために、各指定文化財の統一的な案内看板の設置や、文化財パンフレット等を作成し配布するとともに、ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催を行っていく。  
 また、活動団体と連携して保存・活用を図るため、官民協働により担い手育成の支援や、必要な助言・指導などを活動的に行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年度実施している教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」を開催し、4回の開催で累計95人が参加した。

進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の普及・啓発を進めていくため、講座等の開催を継続していくことが重要である。また、講座内容について、過去に開催した内容と重複しないよう、講師の選定等を含め検討していく。
--	--

状況を示す写真や資料等

令和5年度下田市教育委員会連続歴史講座  
**南豆の歴史を後世に**

開催日時	演題	講師
10月24日(火) 18:30~20:00	ペリーが見た幕末下田 ～『日本遠征記』挿絵版の魅力～	菅野 龍磨 (上原美術館学芸員)
11月24日(金) 18:30~20:00	アメリカ初代駐日総領事 タウンゼント・ハリスについて	尾形 征己 (下田開国博物館館長)
12月5日(火) 18:30~20:00	吉田松陰像の課題	立花 義彰 (美術史研究者)
12月19日(火) 18:30~20:00	江戸時代の仏像 ～伊豆南部の像を中心に～	田島 整 (上原美術館主任学芸員・ 下田市文化財保護審議会委員)

【講座概要】  
 ◎ 会 場 下田市民文化会館大会議室  
 ◎ 要 料 1回 500円 (※中学生無料)  
 ◎ 期 間 1回 30分～1時間15分  
 ◎ 受講人数 各講座定員 50名  
 ◎ 対 象 中学生以上

【申込方法】  
 下記のQRコードを、携帯電話・スマートフォンから読み取り、専用のフォームにてお申し込みください。お電話にて下記までお申込みください。

【問い合わせ先】  
 〒415-0024 下田市西下田6番16号  
 下田市教育委員会生涯学習課社会教育係  
 TEL: 0538-22-0000 FAX: 0538-22-5178  
 E-mail: syougaku@city.shimada.lg.jp  
 ※お問い合わせは本講座の運営が担当いたします。

令和5年度下田市教育委員会連続講座 「南豆の歴史を後世に」

①令和5年10月24日(火) 18:30~20:00 参加者: 29人  
 演題: ペリーが見た幕末下田～『日本遠征記』挿絵版の魅力～  
 講師: 菅野 龍磨(上原美術館学芸員)

②令和5年11月24日(金) 18:30~20:00 参加者: 21人  
 演題: アメリカ初代駐日総領事タウンゼント・ハリスについて  
 講師: 尾形 征己(下田開国博物館館長)

③令和5年12月5日(火) 18:30~20:00 参加者: 25人  
 演題: 吉田松陰像の課題  
 講師: 立花 義彰(美術史研究者)

④令和5年12月19日(火) 18:30~20:00 参加者: 20人  
 演題: 江戸時代の仏像～伊豆南部の像を中心に～  
 講師: 田島 整(上原美術館主任学芸員・下田市文化財保護審議会委員)

令和5年度下田市教育委員会連続講座  
 「南豆の歴史を後世に」チラシ



令和5年度下田市教育委員会連続講座  
 「南豆の歴史を後世に」第1回講座



令和5年度下田市教育委員会連続講座  
 「南豆の歴史を後世に」第3回講座

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度 令和5年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
夜の街に優しい光 下田で「竹灯笼イベント」	令和5年7月28日	伊豆新聞
初の“ホコ天図書館”盛況 きょうまで下田・大横町通り 多彩な催し、本に親しむ	令和5年9月24日	伊豆新聞
“街なか図書館”お目見え 大学生が企画 地元の中高生ら本紹介	令和5年9月24日	静岡新聞
南豆製氷所 建造100周年 下田・旧沢村邸で企画展 解体前の写真など100点超	令和5年11月11日	伊豆新聞
伝統の民謡「下田節」堪能 川勝知事 芸妓の稽古視察	令和5年11月15日	伊豆新聞
「まち遺産」で歴史学ぶ 大賀茂小4年 下田市職員が出前講座	令和5年12月13日	伊豆新聞
景観施策など紹介 「まち遺産手帖」下田市発行	令和5年12月21日	伊豆新聞
太鼓祭り楽しむ“下田っ子”一面に 旧沢村邸 7日まで写真展	令和5年12月31日	伊豆新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
関連する事業の掲載により、歴史まちづくりの進捗状況の情報提供に繋がった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	事業に関係する資料の報道機関への提供を継続し、効果的な報道に繋がるよう実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     著作権保護のため、新聞記事はなし。                 </div>		

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

SNSにみる認知度の向上

計画に記載している内容 美しく風格ある都市を創出し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致維持向上計画に関する情報の発信を年間2回行い、181件のリアクションがあった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

引き続き情報発信に努めていく。

状況を示す写真や資料等



Instagramでの記事掲載状況の様子

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度下田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和6年5月20日(月)午後2時00分～午後3時15分	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修景舗装のように「歩く道」の整備も必要であるが、来訪者が「歩きたい」と思うような動機付けとなる「エリアの整備」が必要。</li> <li>・修景舗装の事業計画について、面的な「エリアの整備」を念頭に置き、下田旧町内の南北方向と東西方向で修景舗装の仕様を変えるなど、事業計画の検討を行うべき。</li> <li>・歴史的風致における祭礼行事は人々の活動の代表例であり、祭礼に用いる道具類の維持管理、また修理の技術等の次世代の職人の育成などは喫緊の課題である。財政的支援においては、文化庁の補助メニュー等の活用も検討してもらいたい。</li> <li>・景観まちづくり基金の活用については、国県補助が受けられる事業については、引き続き補助金等の活用を検討し事業の進捗を図ることが望ましいのではないかと。また、国県補助の対象とならない事業について、市の基金等の財源を活用して財政的支援となるよう制度の検討をしてもらいたい。</li> <li>・文化財の防災対策に例示されるように、耐震補強工事などのハード面での整備が進んだ一方、施設の防災訓練などのソフト面での事業の進捗に課題がある。ハード面での整備を行った上でソフト面での事業展開を行うことで、より効果的な事業効果につながると考える。</li> <li>・歴史的建造物への補助事業をはじめ、各事業における事業実施については、「歴史的風致」の維持向上に努めることを再度認識し、計画の立案、実施してもらいたい。観光業が主産業である下田において、観光面を目的とした事業の計画立案、実施がこれまで多く行われてきたが、「本物の歴史を後世に残す」という意味でも、今一度「歴史的風致」の維持向上を念頭に検討してもらいたい。</li> <li>・教育の面から考えても、「本物を創る」ことにより、「人が訪れる」ことにつながる事業効果を学ぶことで、自分たちの住むまちの産業について考えるきっかけとなり、また、郷土学習の推進から自分たちの住むまちについて知るきっかけを作り、それが「人づくり」につながっていく。こうした「歴史的風致」の維持向上が、子どもたちの人間形成にも深く関わっていけることを感じた。</li> <li>・伊豆石のような、これまで普遍的にどこにでもあるものが、それ自体の産出が終了したことにより、今になって貴重な歴史資源となっている。こうした小さな要素であれど、創り上げていくことで大きな資源にもなることから、今後の検討項目として取り上げていただきたい。</li> <li>・「歴史的風致」の維持向上による様々な効果を期待するわけだが、その1つに「まちの活性化」がある。しかし昨今では、全国的に観光地における「オーバーツーリズム」の問題が広く報道され、「活性化」についていかに考えるべきか、難しい状況となっている。この「活性化」というのが単なる「にぎやか」ではなく、その地域に住む人々や、その地域を訪れる人々にとって「充実した時間となる」ことを念頭に、ハード整備やソフト面での事業展開などを検討していく必要がある。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期計画の策定も念頭に置きながら、現行計画に記載した事業を継続的に実施していく。</li> <li>・本計画の策定後に検討、策定された関連する他の事業計画も取り入れながら、本計画の事業へ反映させる。</li> <li>・本計画の策定以前に検討、策定された関連する他の事業計画について、「歴史的風致」の維持向上を念頭に、事業計画の変更も視野に入れた、事業の再検討を行う。</li> </ul>	